

科目名	視能訓練学総論Ⅱ	担当教員		當摩 智	
学年・学期	2年	時間数	30	単位数	2

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
斜視・弱視診療に対して必要な知識・検査について実践的な授業を行う。

授業概要

斜視弱視診療アトラスP20～P150までを理解する。

授業計画

1	斜視の診断手順・大型弱視鏡	講義 演習 実習
2	大型弱視鏡	講義 演習 実習
3	ステレオテスト・4△base out test	講義 演習 実習
4	AC/A比・固視検査・電気生理検査	講義 演習 実習
5	眼筋麻痺診断手順	講義 演習 実習
6	眼筋麻痺診断手順	講義 演習 実習
7	Hess赤緑試験・牽引試験 テンシロンテスト	講義 演習 実習
8	電気生理検査・眼振検査 放射線検査	講義 演習 実習
9	内斜視①	講義 演習 実習
10	内斜視②	講義 演習 実習
11	外斜視	講義 演習 実習
12	AV型斜視・DVD・過動・不全 上下斜視・偽斜視	講義 演習 実習
13	弱視①	講義 演習 実習
14	弱視②	講義 演習 実習
15	試験	講義 演習 実習
成績評価法	試験	
使用テキスト	斜視弱視診療アトラス	
参考文献		
備考		

科目名	視覚生理学Ⅲ（神経）	担当教員		當摩 智	
学年・学期	2年	時間数	30	単位数	2

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
斜視・弱視診療に対して必要な知識・検査について実践的な授業を行う。

授業概要

視覚の求心路、遠心路を学び、視覚との関係を理解する。

授業計画

1	求心路①	講義 演習 実習
2	求心路②	講義 演習 実習
3	求心路と視野①	講義 演習 実習
4	求心路と視野②	講義 演習 実習
5	求心路と視野③	講義 演習 実習
6	求心路と視野④	講義 演習 実習
7	求心路と視野⑤	講義 演習 実習
8	求心路と視野⑥	講義 演習 実習
9	瞳孔反射①	講義 演習 実習
10	瞳孔反射②	講義 演習 実習
11	核上性眼球運動障害	講義 演習 実習
12	核下性眼球運動障害	講義 演習 実習
13	神経筋接合部	講義 演習 実習
14	筋性障害・機械的運動障害	講義 演習 実習
15	試 験	試験
成績評価法	試験	
使用テキスト	視能学3版	
参考文献		
備 考		

科目名	眼科検査学 I	担当教員		中嶋 敬	
学年・学期	1年	時間数	30	単位数	2

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
検査機器の基本知識について実践的な授業を行う。

授業概要

眼科検査で使用する機械について、機器の構造や使用目的を理解する。

授業計画

1	視力検査	講義 演習 実習
2	視力検査	講義 演習 実習
3	視力検査	講義 演習 実習
4	眼鏡・コンタクトレンズ検査	講義 演習 実習
5	瞳孔検査	講義 演習 実習
6	屈折検査	講義 演習 実習
7	屈折検査	講義 演習 実習
8	眼圧検査	講義 演習 実習
9	調節検査	講義 演習 実習
10	視野検査	講義 演習 実習
11	色覚・光覚検査	講義 演習 実習
12	前眼部検査	講義 演習 実習
13	前眼部検査	講義 演習 実習
14	前眼部検査	講義 演習 実習
15	試験	試験
成績評価法	レポート	
使用テキスト	眼科検査ガイド	
参考文献		
備 考	副教材：配布プリント 使用機材等：プロジェクタ、眼科検査機器	

科目名	眼科検査学Ⅱ	担当教員		中嶋 敬	
学年・学期	1年	時間数	30	単位数	2

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
検査機器の基本知識について実践的な授業を行う。

授業概要

眼科検査で使用する機器について、機器の構造や使用目的を理解する。

授業計画

1	外眼部・涙道検査	講義 演習 実習
2	光干渉断層計	講義 演習 実習
3	光干渉断層計 前房・隅角検査	講義 演習 実習
4	眼底写真・眼底検査・固視検査	講義 演習 実習
5	眼球運動検査	講義 演習 実習
6	眼球運動検査	講義 演習 実習
7	両眼視機能検査	講義 演習 実習
8	両眼視機能検査	講義 演習 実習
9	両眼視機能検査	講義 演習 実習
10	眼位検査	講義 演習 実習
11	眼位検査	講義 演習 実習
12	眼位検査	講義 演習 実習
13	電気生理検査	講義 演習 実習
14	眼軸長検査 超音波、放射線、画像診断	講義 演習 実習
15	試験	試験
成績評価法	レポート	
使用テキスト	眼科検査ガイド	
参考文献		
備 考	副教材：配布プリント 使用機材等：プロジェクタ、眼科検査機器	

科目名	視覚生理学Ⅰ（分解能・空間感覚）	担当教員		大高 祐介	
学年・学期	1年	時間数	30	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
視能矯正学について実践的な授業を行う。

授業概要

視能訓練士として必要な「見る」という能力基本の知識を修得する

授業計画

1	視力について①	講義
2	視力について②	講義
3	視力について③	講義
4	視力検査①	講義
5	視力検査②	講義
6	屈折検査①	講義
7	屈折検査②	講義
8	試験	試験
成績評価法	試験、レポート、平常点	
使用テキスト		
参考文献		
備 考	副教材：配布資料 使用器材等：実習機器	

科目名	眼疾病学 I	担当教員	福留 茂子
学年・学期	2年	時間数	30
		単位数	2

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
視能訓練士として必要な眼疾患の基本知識について実践的な授業を行う。

授業概要

視能訓練士として必要な眼疾患の知識を習得する。

授業計画

1	結膜疾患	講義
2	結膜疾患	講義
3	角膜疾患	講義
4	強膜疾患	講義
5	ぶどう膜疾患	講義
6	ぶどう膜疾患	講義
7	網膜疾患と硝子体疾患	講義
8	網膜疾患と硝子体疾患	講義
9	網膜疾患と硝子体疾患	講義
10	網膜疾患と硝子体疾患	講義
11	網膜疾患と硝子体疾患	講義
12	網膜疾患と硝子体疾患	講義
13	網膜疾患と硝子体疾患	講義
14	網膜疾患と硝子体疾患	講義
15	試験	試験
成績評価法	平常点 試験	
使用テキスト	病気がみえる 現代の眼科学	
参考文献	視能検査学	
備 考	副教材：P. P.	

科目名	眼疾病学Ⅱ	担当教員		福留 茂子	
学年・学期	2年	時間数	30	単位数	2

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
視能訓練士として必要な眼疾患の基本知識について実践的な授業を行う。

授業概要

視能訓練士として必要な眼科の基本的な知識を習得する。

授業計画

1	水晶体疾患	講義
2	緑内障	講義
3	緑内障	講義
4	視神経疾患	講義
5	眼瞼疾患	講義
6	涙器疾患	講義
7	眼窩疾患	講義
8	腫瘍	講義
9	外傷	講義
10	全身病と眼	講義
11	全身病と眼	講義
12	全身病と眼	講義
13	症候群	講義
14	診察・検査	講義
15	試験	試験
成績評価法	平常点 試験	
使用テキスト	視能学・眼科検査ガイド	
参考文献	病気がみえる、現代の眼科学	
備 考	副教材：P. P.	

科目名	基礎視能矯正学Ⅰ	担当教員		大高 祐介	
学年・学期	1年	時間数	30	単位数	2

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
視能矯正の基本知識について実践的な授業を行う。

授業概要

視能矯正の基礎を学ぶ。
将来、視能訓練士として臨床で応用できるよう基礎知識の習得を目標とする。

授業計画

1	視器の解剖	講義 演習 実習
2	視能矯正学総論	講義 演習 実習
3	視能矯正学総論	講義 演習 実習
4	生理光学	講義 演習 実習
5	生理光学	講義 演習 実習
6	生理光学	講義 演習 実習
7	生理光学	講義 演習 実習
8	視能矯正学総論	講義 演習 実習
9	視能矯正学総論	講義 演習 実習
10	視能矯正学総論	講義 演習 実習
11	視能矯正学総論	講義 演習 実習
12	視能矯正学総論	講義 演習 実習
13	視能矯正学総論	講義 演習 実習
14	視能矯正学総論	講義 演習 実習
15	試験	試験
成績評価法	試験	
使用テキスト	視能学3版	
参考文献		
備 考	副教材：配布プリント、視能学第2版 使用器材等：PC、プロジェクター	

科目名	基礎視能矯正学Ⅱ	担当教員		大高 祐介	
学年・学期	1年	時間数	30	単位数	2

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
視能矯正の基本知識について実践的な授業を行う。

授業概要

視能矯正の基礎を学ぶ。
将来、視能訓練士として臨床で応用できるよう基礎知識の習得を目標とする。

授業計画

1	視能矯正学総論	講義 演習 実習
2	視能矯正学総論	講義 演習 実習
3	視能矯正学総論	講義 演習 実習
4	視能矯正学総論	講義 演習 実習
5	視能矯正学総論	講義 演習 実習
6	視能矯正学総論	講義 演習 実習
7	視覚生理学	講義 演習 実習
8	視覚生理学	講義 演習 実習
9	視覚生理学	講義 演習 実習
10	小児眼科学	講義 演習 実習
11	眼科薬理学	講義 演習 実習
12	神経眼科	講義 演習 実習
13	電気生理学	講義 演習 実習
14	総括	講義 演習 実習
15	試験	試験
成績評価法	試験	
使用テキスト	視能学3版	
参考文献		
備 考	副教材：配布プリント、視能学第2版 使用器材等：PC、プロジェクター	

科目名	視能検査学実習Ⅰ	担当教員		大高 祐介	
学年・学期	2年	時間数	15	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例を中心に
視野・色覚・光覚について実践的な授業を行う。

授業概要

視野・色覚・光覚について学習する。

授業計画

1	視野 概念・静的、動的	講義 演習 実習
2	視野 周辺視野、中心視野	講義 演習 実習
3	視野 周辺視野、中心視野	講義 演習 実習
4	視野 視野異常と病変	講義 演習 実習
5	視野 視野異常と病変	講義 演習 実習
6	視野 測定法(ゴールドマン視野計)	講義 演習 実習
7	視野 測定法(ハンフリー視野計・アムスラーチャート)	講義 演習 実習
8	色覚 特性・学説	講義 演習 実習
9	色覚 先天色覚異常・遺伝	講義 演習 実習
10	色覚 後天色覚異常	講義 演習 実習
11	色覚 色覚検査法	講義 演習 実習
12	光覚 視細胞・視色素・光化学	講義 演習 実習
13	光覚 暗順応、夜盲	講義 演習 実習
14	光覚 暗順応、夜盲	講義 演習 実習
15	試験	試験
成績評価法	平常点と試験	
使用テキスト	視能学・眼科検査ガイド	
参考文献	視能検査学	
備 考	副教材：配布プリント 使用機材等：プロジェクター	

科目名	視能訓練学各論Ⅱ	担当教員		福留 茂子	
学年・学期	2年	時間数	30	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
弱視の定義・原因・分類・検査・治療法について実践的な授業を行う。

授業概要

弱視の定義・原因・分類・検査・治療法について学習する。

授業計画

1	定義・原因・分類	講義 演習 実習
2	病態・分類	講義 演習 実習
3	斜視弱視・微小斜視弱視	講義 演習 実習
4	不同視弱視・屈折異常弱視・経線弱視	講義 演習 実習
5	形態覚遮断弱視	講義 演習 実習
6	診断・屈折検査	講義 演習 実習
7	調節麻痺薬・固視検査	講義 演習 実習
8	屈折矯正・眼鏡処方	講義 演習 実習
9	完全遮閉・不完全遮閉・遮閉具	講義 演習 実習
10	副作用・家庭訓練	講義 演習 実習
11	訓練機器	講義 演習 実習
12	ペナリゼーション	講義 演習 実習
13	薬物による治療	講義 演習 実習
14	治療効果の判断	講義 演習 実習
15	試験	試験
成績評価法	平常点と試験	
使用テキスト	視能学 P410～P436	
参考文献	視能検査学	
備 考	副教材：P. P. 使用機材等：プロジェクター	

科目名	視能訓練学実習 I	担当教員		大高 祐介	
学年・学期	2年	時間数	30	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ解剖・生理・病理学について実践的な授業を行う。

授業概要

眼科の各検査を通して視器の解剖・生理・病理を検査を通して学ぶ。

授業計画

1	涙液検査	講義 演習 実習
2	涙液検査	講義 演習 実習
3	屈折検査	講義 演習 実習
4	屈折検査	講義 演習 実習
5	屈折検査	講義 演習 実習
6	屈折検査	講義 演習 実習
7	超音波検査	講義 演習 実習
8	超音波検査	講義 演習 実習
9	眼底検査	講義 演習 実習
10	眼底検査	講義 演習 実習
11	眼底検査	講義 演習 実習
12	電気生理学	講義 演習 実習
13	電気生理学	講義 演習 実習
14	電気生理学	講義 演習 実習
15	試験	試験
成績評価法	試験（レポート課題）、平常点	
使用テキスト		
参考文献		
備 考	副教材：配布資料 使用機材等：実習機器	

科目名	生理光学Ⅲ	担当教員		赤石 真紀	
学年・学期	2年	時間数	30	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例を中心に
視力・屈折検査・眼鏡処方について実践的な授業を行う。

授業概要

眼科外来でルーティンに行われる検査について実習する。

授業計画

1	実習 レフラクトメーターを使用した自覚的屈折検査法	講義 演習 実習
2	実習 レフラクトメーターを使用した自覚的屈折検査法	講義 演習 実習
3	実習 レフラクトメーターを使用した自覚的屈折検査法	講義 演習 実習
4	実習 レフラクトメーターを使用した自覚的屈折検査法	講義 演習 実習
5	実習 外来の流れの中での検査（視力、屈折、眼圧、レンズメーター検査）	講義 演習 実習
6	実習 外来の流れの中での検査（視力、屈折、眼圧、レンズメーター検査）	講義 演習 実習
7	実習 外来の流れの中での検査（視力、屈折、眼圧、レンズメーター検査）	講義 演習 実習
8	実習 外来の流れの中での検査（視力、屈折、眼圧、レンズメーター検査）	講義 演習 実習
9	実習 外来の流れの中での検査（視力、屈折、眼圧、レンズメーター検査）	講義 演習 実習
10	実習 被検者に合わせた対応ができる	講義 演習 実習
11	実習 被検者に合わせた対応ができる	講義 演習 実習
12	実習 被検者に合わせた対応ができる	講義 演習 実習
13	実習 眼鏡処方（遠視、近視、乱視、老眼）	講義 演習 実習
14	実習 眼鏡処方（遠視、近視、乱視、老眼）	講義 演習 実習
15	試験	試験
成績評価法	平常点と実技の習得	
使用テキスト	眼科検査ガイド	
参考文献		
備 考	副教材：視力表・レンズセット・レンズメーター・レフケラトメーター・眼圧計等	

科目名	症例検討	担当教員		中嶋 敬	
学年・学期	3年	時間数	15	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例を踏まえ
 学生が臨地実習で遭遇した症例発表に対して実践的な授業を行う。

授業概要

臨地実習で経験した症例を研究し発表する。

授業計画

1	症例検討発表準備	講義 演習
2	症例検討発表準備	講義 演習
3	症例検討発表準備	講義 演習
4	症例検討発表準備	講義 演習
5	症例検討発表準備	講義 演習
6	症例検討発表準備	講義 演習
7	症例検討発表	講義 演習
8	症例検討発表	講義 演習
成績評価法	症例検討発表会、平常点	
使用テキスト		
参考文献		
備 考	使用器材等：PC・プロジェクター	

科目名	臨地実習 I	担当教員		中嶋 敬	
学年・学期	3年	時間数	180	単位数	4

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
臨地実習について実践的な授業を行う。

授業概要

眼科臨床の実際を学び、眼科で働く上で必要なスキルやマナーを身につけること。

授業計画

1～90	眼科臨床に出て22日間の臨地実習を行う ※学内実習・臨地実習準備期間含む 臨地実習を通して、視力検査・屈折検査、調節検査、視野検査、色覚検査、眼球運動検査、両眼視検査、外眼部検査、電気生理学的検査、眼圧検査、涙液検査をはじめとする眼科臨床に必要な手技ができるようになる。 また、眼科臨床で働く心構えや、コミュニケーション能力、患者の接遇および誘導、チーム医療と医療安全の実際を理解する。	実習
成績評価法	出席、実習態度、患者およびその家族への接し方、対人関係、基礎知識についての理解度、検査についての理解度、視能矯正についての理解度から総合的に評価する	
使用テキスト		
参考文献		
備考		

科目名	臨地実習Ⅱ	担当教員		中嶋 敬	
学年・学期	3年	時間数	180	単位数	4

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
臨地実習について実践的な授業を行う。

授業概要

眼科臨床の実際を学び、眼科で働く上で必要なスキルやマナーを身につけること。

授業計画

1～90	眼科臨床に出て22日間の臨地実習を行う ※学内実習・臨地実習準備期間含む 臨地実習を通して、視力検査・屈折検査、調節検査、視野検査、色覚検査、眼球運動検査、両眼視検査、外眼部検査、電気生理学的検査、眼圧検査、涙液検査をはじめとする眼科臨床に必要な手技ができるようになる。 また、眼科臨床で働く心構えや、コミュニケーション能力、患者の接遇および誘導、チーム医療と医療安全の実際を理解する。	実習
成績評価法	出席、実習態度、患者およびその家族への接し方、対人関係、基礎知識についての理解度、検査についての理解度、視能矯正についての理解度から総合的に評価する	
使用テキスト		
参考文献		
備考		

科目名	臨地実習Ⅲ	担当教員		中嶋 敬	
学年・学期	3年	時間数	180	単位数	4

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
臨地実習について実践的な授業を行う。

授業概要

眼科臨床の実際を学び、眼科で働く上で必要なスキルやマナーを身につけること。

授業計画

1～90	眼科臨床に出て23日間の臨地実習を行う ※学内実習・臨地実習準備期間含む 臨地実習を通して、視力検査・屈折検査、調節検査、視野検査、色覚検査、眼球運動検査、両眼視検査、外眼部検査、電気生理学的検査、眼圧検査、涙液検査をはじめとする眼科臨床に必要な手技ができるようになる。 また、眼科臨床で働く心構えや、コミュニケーション能力、患者の接遇および誘導、チーム医療と医療安全の実際を理解する。	実習
成績評価法	出席、実習態度、患者およびその家族への接し方、対人関係、基礎知識についての理解度、検査についての理解度、視能矯正についての理解度から総合的に評価する	
使用テキスト		
参考文献		
備考		

科目名	臨地実習Ⅳ	担当教員		中嶋 敬	
学年・学期	3年	時間数	180	単位数	4

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
臨地実習について実践的な授業を行う。

授業概要

眼科臨床の実際を学び、眼科で働く上で必要なスキルやマナーを身につけること。

授業計画

1～90	眼科臨床に出て23日間の臨地実習を行う ※学内実習・臨地実習準備期間含む 臨地実習を通して、視力検査・屈折検査、調節検査、視野検査、色覚検査、眼球運動検査、両眼視検査、外眼部検査、電気生理学的検査、眼圧検査、涙液検査をはじめとする眼科臨床に必要な手技ができるようになる。 また、眼科臨床で働く心構えや、コミュニケーション能力、患者の接遇および誘導、チーム医療と医療安全の実際を理解する。	実習
成績評価法	出席、実習態度、患者およびその家族への接し方、対人関係、基礎知識についての理解度、検査についての理解度、視能矯正についての理解度から総合的に評価する	
使用テキスト		
参考文献		
備考		

科目名	視能訓練学実習Ⅲ	担当教員		當摩 智	
学年・学期	3年	時間数	30	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
実践的な臨地実習前の総まとめの授業を行う。

授業概要

臨地実習前の確認。

授業計画

1	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
2	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
3	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
4	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
5	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
6	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
7	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
8	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
9	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
10	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
11	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
12	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
13	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
14	実習ロールプレイング	講義 演習 実習
15	試験	試験
成績評価法	試験（レポート）	
使用テキスト		
参考文献		
備考		

科目名	視力屈折 I	担当教員		角張 文彦	
学年・学期	1年	時間数	30	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
視能訓練士としての基本知識について実践的な授業を行う。

授業概要

乱視表を使って雲霧法を行い、正しい円柱レンズの値を求める。
正確に矯正視力値の記載ができる。

授業計画

1	雲霧法による矯正理論①	講義 演習 実習
2	雲霧法による矯正理論②	講義 演習 実習
3	雲霧法による矯正理論③	講義 演習 実習
4	雲霧法による矯正理論④	講義 演習 実習
5	雲霧法による矯正理論⑤	講義 演習 実習
6	雲霧法による矯正理論⑥	講義 演習 実習
7	雲霧法による矯正理論⑦	講義 演習 実習
8	雲霧法による矯正理論⑧	講義 演習 実習
9	雲霧法による矯正視力測定	講義 演習 実習
10	雲霧法による矯正視力測定	講義 演習 実習
11	雲霧法による矯正視力測定	講義 演習 実習
12	雲霧法による矯正視力測定	講義 演習 実習
13	雲霧法による矯正視力測定	講義 演習 実習
14	雲霧法による矯正視力測定	講義 演習 実習
15	試験・レポート提出	試験
成績評価法	試験・レポート	
使用テキスト	眼科検査ガイド等	
参考文献		
備 考	副教材：配布プリント 使用器材等：プロジェクタ	

科目名	視力屈折Ⅱ	担当教員		赤石 真紀	
学年・学期	1 年	時間数	30	単位数	1

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
視力・屈折検査の基本知識について実践的な授業を行う。

授業概要

屈折検査のクロスシリンダー法の理論と手技をできるようにする。
オートレフラクトメータとノンコンタクトトノメータの手技と説明をできるようにする。

授業計画

1	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
2	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
3	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
4	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
5	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
6	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
7	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
8	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
9	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
10	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
11	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
12	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
13	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
14	屈折検査・眼圧検査	講義 演習 実習
30	試 験	試験
成績評価法	レポート	
使用テキスト	眼科検査ガイド	
参考文献		
備 考	副教材：配布プリント 使用器材等：5m視力検査台、レンズセット、クロスシリンダー、オートレフラクトメータ、ノンコンタクトトノメータ	

科目名	生理光学 I	担当教員	赤石 真紀
学年・学期	1年	時間数	30
		単位数	2

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
生理光学の基本知識について実践的な授業を行う。

授業概要

屈折測定理論を理解するための生理光学の基礎。（2学年へ続く）

授業計画

1	球面レンズによる遠用矯正 1	講義
2	球面レンズによる遠用矯正 2	講義
3	球面レンズによる遠用矯正 3	講義
4	球面レンズによる遠用矯正 4	講義
5	乱視眼とその矯正 1	講義
6	乱視眼とその矯正 2	講義
7	乱視眼とその矯正 3	講義
8	乱視眼とその矯正 4	講義
9	乱視眼とその矯正 5	講義
10	乱視眼とその矯正 6	講義
11	調節と近用矯正 1	講義
12	調節と近用矯正 2	講義
13	調節と近用矯正 3	講義
14	調節と近用矯正 4	講義
15	試験	試験
成績評価法	試験	
使用テキスト	プリント教材	
参考文献		
備 考	使用器材等: オプティカルベンチ、屈折測定用各種レンズとアクセサリーズ	

科目名	物理学	担当教員		赤石 真紀	
学年・学期	1年	時間数	30	単位数	2

実務経験のある教員等による授業科目

視能訓練士として病院等での実務経験にて、実際に遭遇した実症例をふまえ
幾何光学・物理光学・量子光学の基本知識について実践的な授業を行う。

授業概要

生理光学の基礎としての物理光学と幾何光学を学ぶ。

授業計画

1	基礎光学 1	講義
2	基礎光学 2	講義
3	基礎光学 3	講義
4	基礎光学 4	講義
5	球面レンズの結像 1	講義
6	球面レンズの結像 2	講義
7	球面レンズの結像 3	講義
8	球面レンズの結像 4	講義
9	球面レンズの結像 5	講義
10	球面レンズの結像 6	講義
11	球面レンズの結像 7	講義
12	球面レンズの結像 8	講義
13	球面レンズの結像 9	講義
14	眼の屈折系	講義
15	試験	試験
成績評価法	定期試験	
使用テキスト	プリント教材	
参考文献	視能検査学	
備 考	使用器材等：オプティカルベンチ、反射・屈折試験器、全反射試験器、混色試験器 等	